

膳高支え続けた 奎文堂



▲取材を受ける 奎文堂4代目店主・久保泰幸さん

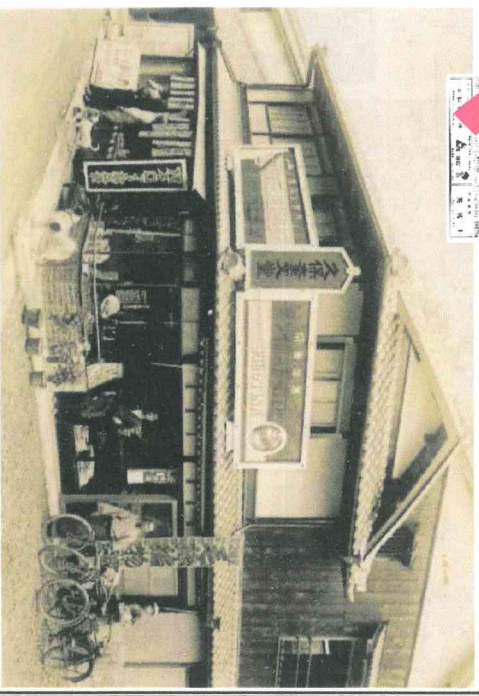
閉店「断腸の思い」

久保さんは「そもそも、断腸の思いだった」と語り、奎文堂は膳所高校に教科書販売を続けてきた。奎文堂は膳所高校の教科書販売を10年以上続けていた。それは地元の馴染もつとする強い思いで初代店主が開始した。現在は膳所高校のほか、中学校、小学校7校にも教科書販売を行っている。そのため、閉店の決断は3月下旬から4月に

かけて行われる。そのため、この年から教科書販売の準備を始めていた。久保さんは「1年分の教科書を2、3か月で準備をしないと行けないので、大変だった」と話した。

本のことなら
久保奎文堂
膳所高橋 TEL:24-3536 24-3663

▲かつての膳高新聞に掲載された 奎文堂の広告



▲1923年の奎文堂

今後の膳高の教材は…

来年以降、大津市にある滋賀教科図書販売(滋賀教販)が教科書やワークなどの教材類を販売する予定。

「人手不足」が閉店の原因

1年を通してアルバイトではなないことも多かった。また久保さんは「後継者がいなかったことも原因の1つだ」と語っていた。長い間教科書販売店であったからこそ、教科書を学校に供給できなくなってきた」と語る。これまででは学生アルバイトが集まっていた。しかし、最近は学生アルバイトが集まらなくなってきた」と語る。これが集まっていたが、1年を通してアルバイトではなないことも多かった。また久保さんは「後継者がいなかったことも原因の1つだ」と語っていた。長い間教科書販売店であったからこそ、教科書を学校に供給できなくなってきた」と語る。これが集まっていたが、

部説

こちらは奎文堂

膳所高校の一部ともいえる久保奎文堂がその歴史の終焉を迎えた。地域の書店として学校を支えてきた奎文堂の閉店は、多くの膳所高校にとって悲しむべきことである。▲長年学校に教材を販売してきた奎文堂の閉店。今後の教材の購入に影響が出ることは避けられない。今後の動向を注視していきたい。